

兵庫県のハムシ研究史(3) (兵庫県甲虫相資料・330)

高橋 寿郎

1975. 高橋 匡. 豊岡高等学校昆虫標本目録(第1・2報). 兵庫県立豊岡高等学校生物教室刊 B5. 66p.

但馬地域産昆虫標本目録で, 採集データがついている. 甲虫類は626種が記録されており, ハムシ科の記録は87種.

1975. 高橋 匡. 豊岡高等学校昆虫標本目録(第3報). 兵庫県立豊岡高等学校生物教室刊 B5. 24p.

前出の続報. 甲虫類は新たに増えた6科を含む128種を追加. ハムシ科は13種含まれている.

1975. 倉本康司. 氷上郡におけるキベリハムシの分布. *Natura*(32):50-58.

1975. Takizawa, H. A Review of the approximatus-Group of *Cryptocephalus* (Coleoptera, Chrysomelidae) in Japan, with Description of a New Species. *Kontyu* 43(4):422-436.

日本産ハムシ類中のバラリリツツハムシ類の分類学的論文. この中で *Cryptocephalus aeneoblites* なる新種の記載が行われている. この新種は, 兵庫県下の六甲山にも産することが記録されている.

1975. Suzuki, S., Yamada, K., Teranishi, M. and Tadauchi, O. Preliminary Study on the Geographical Distribution of Color Form in *Chrysolina aurichalcea* (Mannerheim) (Coleoptera, Chrysomelidae). *Kontyu* 43(4):437-445.

ヨモギハムシの色彩型(ドウガネ系と青色系)の分布について論じたもの. 宝塚市における分布にもふれられており, ドウガネ系が大変少ないとある(全般に兵庫県下ではドウガネ系は少ないと思う).

1976. 河野 哲・藤本 清・山口福男. サンゴジュハムシ(*Pyrrhalta annulicornis* Baly)の発生と被害について. 日本応用動物昆虫学会中国支部会報(18):32-36.

兵庫県農業試験場園芸部花木園(明石市北王子町)のサンゴジュにサンゴジュハムシ成虫が発生した状況

の報告.

1976. 木村三郎. 書写山でキベリハムシ発生. てんとうむし 1(3):2.

1976. 奥谷禎一. 広域基幹林道予定地域自然環境調査報告書 IV. 昆虫類調査pp.57-73. (兵庫県農林部治山課刊).

播但基幹林道の主な調査地: 峰山高原, 砥峯高原, 福地溪谷, 須留ヶ峰. 主として遊磨正秀氏と奥谷禎一博士の調査で, 甲虫の同定は高橋寿郎が担当. ハムシ科は12種を記録.

播磨中部高原広域基幹林道の主な調査地: 加美町三谷, 市原, 鳥羽, 笠形山. 主として高橋寿郎の調査. この地域での甲虫は56科491種で, ハムシ科は74種を記録. 報告は和名のみ.

以上を主体に, 奥谷禎一博士がまとめられ, 報告されたもの.

1976. 高橋寿郎. 淡路島の甲虫相. *Parnassius*(16):3-9.
淡路島産甲虫60科447種を科別に概説. ハムシ科は94種.

1976. 堀田 久. 先山の甲虫相(I). *Parnassius*(16):11-32.

甲虫類30科171種の記録で, ハムシ科は46種が記録されている.

1976. 仲井哲郎. 氷上郡のキベリハムシ. 新・兵庫の自然 p.188. (のじぎく文庫).

1976. 高橋 匡. 豊岡高等学校昆虫標本目録(第4報). 兵庫県立豊岡高等学校生物教室刊 B5.20p.

甲虫類は42科138種が記録されており, ハムシ科は6種が記録されている.

1977. 伊丹市立博物館 昆陽池生物目録. B5.35p.

甲虫類は23科60種が記録されており、ハムシ科は7種が記録されている。

1977. 広池 昇・奈良隆史・木戸和伸. 三熊山の昆虫について. *Parnassius*(17):5-28.

甲虫類については30科76種が記録され、ハムシ科は7種含まれている。

1977. 高橋寿郎. 三濃山(兵庫県)の甲虫相. *MDK NEWS*27(77):2-6.

55科440種を科別に概説。ハムシ科は107種と大変多い。

1978. 堀田 久. 淡路島産甲虫類採集記録. *Parnassius* (18):4-16.

25科69種が記録されており、ハムシ科は13種が記録されている。

1978. 高橋寿郎. 兵庫県神埼郡大河内町川上～砥ノ峯地区の甲虫相. 大河内地点自然環境実態調査報告書: 56-61. (株)新日本技術コンサルタント刊.

47科353種の甲虫を記録。ハムシ科は64種を記録。

1978. 岩田久二雄. 昆虫を見つめて五十年(I, II). (朝日新聞社刊).

セモンジンガサハムシ(神戸市逢山峡), ヨモギカメノコハムシ(篠山町)(I: 61-69)とツツジコバハムシ(篠山町), ヨツボシナガツツハムシ(神戸市唐櫃)(II: 47-60)の生態についての概説がある。

1978. 堀田 久. 淡路島産甲虫類採集記録(II). *Parnassius*(19):10-14.

20科44種が記録されており、ハムシ科は6種が記録されている。

1978. 仲田元亮. 能勢の昆虫 I. B5.405p. (自刊. 単行本)

能勢地域(兵庫県・大阪府にまたがっている地域)で著者がこつこつ調査・採集した結果(約12年間)をまとめ、自刊として出版されたもので大変な労作である。同定などに若干問題はありと思われるが、種ごとの詳しい採集記録がついており大変貴重なものである(ただこれだけ詳しいデータを発表するなら、採集頭数が入っていればその種の生息状況が分かり、さらに優れた資料となったことと思う)。ともあれ、これだ

けのものをまとめて出版することは、好きならばこそできたことだろう。

甲虫は85科1035種、ハムシ科は100種が記録されているが、前述したように全部が兵庫県内での記録ではない。

1978. 高橋 匡. 豊岡高等学校昆虫標本目録(第5報). 兵庫県立豊岡高等学校生物教室刊 B5.14p.

昭和52,53年(1977,1978年)度の但馬地区での調査結果をまとめられたもので、139種が記録されている。甲虫目は52種が記録されているが、そのうちの11種は兵庫県からは初めて記録される種である。ハムシ科は2種の記録がある。

1979. 高橋寿郎. 藍那地区自然環境調査“甲虫類” p.26-33. 兵庫県自然保護協会鈴蘭支部刊. B5.60p.

48科297種を記録。科別に説明した。ハムシ科は45種。

1979. 仲田元亮. 「能勢の昆虫」その後(2). きべりはむし7(2):16-28.

41科90種の記録で、ハムシ科は17種が記録されている。

1979. 鈴木邦雄・櫻井一彦. 兵庫県淡路島におけるヨモギハムシニ色彩型の地理的分布. *New Ent.* 28 (3/4):78-80.

淡路島ではアオグロ型が非常に多く、中央構造線の北側においてはアオグロ型が優勢という瀬戸内沿岸地帯と同様の傾向を示す。

1980. 都市緑地研究所. 神戸市道高速道路2号線生態系調査業務(その1, 2)報告書(妙法寺の昆虫). B5.130p.

(株)ホームサービス社が受託した妙法寺地域の昆虫相調査で、筆者も若干調査を手助けした。甲虫類は47科226種、ハムシ科は21種が記録されている。

1980. 長谷川 洋. ハムシ2種の分布について. *昆虫と自然*15(8):45.

ユリクビナガハムシの兵庫県での記録がある。

1980. 高橋 匡. 但馬地方昆虫目録(予報第4報). *IRATSUME*(4):28-41.

但馬地方のハムシ科11亜科182種の記録。

1980. 磯野昌弘. キイロナガツツハムシの分布. 昆虫と自然12(14):16.

美方郡浜坂町での記録がある.

1980. 高橋寿郎. 県下の注目すべき甲虫. 鳥と自然16:8-14.

ベリークビナガハムシ, キベリハムシについて解説している.

1981. 高橋寿郎. 兵庫県のナガツツハムシ. きべりはむし9(1):6-9.

芦屋市の奥池ならびにイモリ谷にて採集された20頭の標本によってネクイハムシの新種カツラネクイハムシ *Donacia katsurai* Kimoto が記載された (p.24, f.2). タイプ標本は以下のとおりである.

Holotype: Okuike, Ashiya City, Hyogo Pref. 18-V-1980, K. Katsura leg.

Paratypes: 5exs., same data as the holotype.

Paratypes: 14exs., Imoridani, alt. 530m. Okuyama-cho, Ashiya City, Hyogo Pref. 26-V-1980, K. Harusawa leg.

1981. 野尻湖昆虫グループ. 日本産ネクイハムシ亜科に関する研究 1. 1979~1980年に得られた分布と生活上の知見. 大阪市立自然史博物館研究報告(34):27-46.

兵庫県下での採集記録として, イネネクイハムシ *Donacia provosti*, ガガブタネクイハムシ *D. lenzi*, キンイロネクイハムシ *D. japana*, カツラネクイハムシ *D. katsurai* の4種の産地が示されている.

1981. 高橋寿郎. 兵庫県のクビナガハムシ. てんとうむし(7):106-110.

兵庫県産クビナガハムシ亜科4属19種の分布を中心に報告した.

1982. 高橋寿郎. 神戸市須磨区妙法寺地域の甲虫相. 兵庫生物8(3):153-155.

ハムシ科は21種を記録.

1982. 高橋寿郎. 兵庫県産 *Cryptocephalus* 属ハムシ4種の分布について. きべりはむし10(1):29-34.

キベリクロツツハムシ, キボシツツハムシ, オオクロスジツツハムシ, ジュウシホシツツハムシの4種について, 県下での分布を解説した.

1982. 高橋寿郎. 宍粟郡波賀町水谷の甲虫. きべりは

むし10(1):37-41.

29科96種の甲虫を記録, ハムシ科は11種.

1982. 高橋寿郎. 兵庫県のトゲハムシ・カメノコハムシ. IRATSUME(6):46-56.

2亜科19種を記録した.

1982. Suzuki, K. Geographical Distribution of two color forms of *Chrysolina aurichalcea* (Mannerheim) (Coleoptera, Chrysomelidae) in the Tokai district, central Honshu, Japan. New Ent.31(2):1-10.

淡路島でのヨモギハムシ二色彩型の分布状況についての解説がある.

1982. 高橋寿郎. カツラネクイハムシ神戸市北部芦谷溪谷に産す. きべりはむし10(2):27-28.

1982. 仲田元亮. 増補改訂版能勢の昆虫 甲虫の部 上巻A5.453p. 下巻A5.508p. (自刊).

記録された種は上巻で48科613種, 下巻では45科699種, 計1312種となっている(内2種はシノニムである). 大阪からのみという新記録種を除くと, 1149種になる(もっとも, 大阪産とか兵庫産といってもこれは行政上の区分によってであってあまり意味がないので, このような区分で眺めることは感心しないが, 便宜的にこの区分で扱っておく). 同定について若干の疑問種もあるし, わかり難いグループでは専門家に同定してもらった方がよいものもある. 科の中での配列も若干気になる点もある. 個々の種での記録も, 年代順でなく産地別にまとめた方がわかりやすい気がする. せっかくなのであるから, 採集頭数も必要なものは入れてほしかった. 学名についても若干の問題点はある. 兵庫県産ハムシは125種が記録されている.

1982. 河上仁之. 猪名川生物目録, 昆虫. 地域研究いたみ(12):133-135.

昆虫33科87種の記録. 桑津橋から軍行橋付近地域での調査である. 甲虫は9科25種が記録されており, ハムシ科は3種の記録. 普通種が多い.

1984. 河上仁之. 伊丹市昆虫目録(1). 伊丹の自然(1):22-32.

伊丹市内の昆虫相として, 39科202種が記録されている. ハムシ科20種の記録が含まれている.

1984. Borowiec, L. Zoogeographical study on Donaciinae of the World. Bull. Ent. Pologne 53: 433- 518, 83figs.

世界のネクイハムシ亜科に関する動物地理学的研究で、兵庫県産で記載されたカツラネクイハムシなども含まれている。

なお、この論文については金沢至・春沢圭太郎両氏による要約がある（うんころがし No.20:15-18, No.21:13-51, 1985）。

1985. 高橋寿郎. 開国と同時にやってきたキベリハムシ. 昆虫と自然20(1):13-15.

1985. 高橋寿郎. 兵庫県産 2 種のハムシの記録. きべりはむし13(1):22-23.

オオサルハムシ, テントウノミハムシの記録.

1985. Komiya, Y. Studies on the Trichochrysea-species of Japan, Ryukyu Archipelago, Taiwan and Korea (Coleoptera, Chrysomelidae, Eumolpinae). Elytra12(2):11-25.

Trichochrysea japona Mots. トビサルハムシの朝来郡栃原の記録がある。

1985. 奥谷禎一. 大岡山自然環境調査報告. B5.50p. (園田学園刊) (ref.p.5,42-44).

城崎郡日高町大岡山での調査. ハムシ科は12種が記録されている。

1985. 磯野昌弘. 但馬地方西部のハムシ. IRATSUME (8/9):85-97.

主として浜坂町, 扇ノ山, 杉ヶ沢, 兎和野などのハムシ141種を記録。

1985. 足立義弘. 大家町加保坂でカツラネクイハムシを採集. IRATSUME(8/9):151.

1985. 河上仁之. 伊丹市昆虫目録 (2). 伊丹の自然 (2):27-32.

甲虫は 9 科16種が記録されており, ハムシ科は 2 種の記録が含まれている。

1985. パシフィックコンサルタンツ (株). (仮称) 押部谷パブリックゴルフクラブ建設事業動物調査報告書. B5.91p.

神戸市西区押部谷町木津での昆虫相調査で, 72科218

種を記録している. ハムシ科は23種 (担当は高橋寿郎)。

1986. 野尻湖昆虫グループ. アトラス日本のネクイハムシ化石同定への手引きー. B5.182p. 4col.pls.

ナクイハムシ, イネネクイハムシ, カツラネクイハムシ, キンイロネクイハムシ, ツヤネクイハムシ, オオネクイハムシ, スゲハムシの 7 種について, 兵庫県下の記録が多くある。

1986. 高橋寿郎. ワモンナガハムシ六甲山にて採集. きべりはむし14(2):39.

1986. 高橋寿郎. スゲクビボソハムシ神戸市内で採集. きべりはむし14(2):42.

1986. 高橋寿郎. ネクイハムシ美囊郡吉川町に多産. きべりはむし14(2):43.

1986. 河上仁之. 伊丹市昆虫目録 (2). 伊丹の自然 (3):21-26.

ハムシ科 3 種の記録あり。

1987. 久保田正秀. キイロネクイハムシは絶滅したのか. 日本の生物1(3):49-52.

宝塚市での記録を詳しく解説。

1987. 衣笠弘直. ネクイハムシの記録. うんころがし (27):15-17,19.

カツラネクイハムシ, オオネクイハムシ, スゲハムシの県下での記録あり。

1987. 高橋寿郎. 兵庫県のツツハムシ. Parnassius(32):3-11.

兵庫県産19種のツツハムシの分布を中心にした記録。

1987. 河上仁之. 野鳥の島の生物調査報告 (1). IV 昆虫 (昆陽池). 伊丹の自然(5):23-25.

ハムシ科 6 種の記録あり. ただし, 和名のみ。

1988. 高橋寿郎. 兵庫県のツツハムシ (2). きべりはむし16(1):1-4.

1988. 高橋寿郎. ヨツボシナガツツハムシ六甲山系逢山峡に産す. きべりはむし16(1):20-24.

1988. Isono, M. Differentiation in Life History Pattern and Oviposition Behavior, and Thelytoky in *Demotina* and *Hyperaxis* Beetles (Coleoptera, Chrysomelidae) in Western Japan. Kontyu 56(2):402-409.

神戸産の材料が用いられている。

1988. 高橋寿郎. イネネクイハムシ小野市山田町で採集. きべりはむし16(2):51-52.

1988. 高橋寿郎. ナガツツハムシ2種の記録. きべりはむし16(2):54.

ヨツボシナガツツハムシ, クロオビツツハムシについての記録.

1989. 西 隆広. 芦屋市におけるヨツボシナガツツハムシの記録. きべりはむし17(1):14-15.

1989. 高橋寿郎. 兵庫県のクビボソビハムシ. きべりはむし17(2):41-42.

1989. 成田行弘. ネクイハムシ類調査報告 (1988年). Donacist(3):7-8.

神崎郡大河内町砥ノ峯高原でのチュウゴクオオミズクサハムシの採集記録.

1989. 西田雅昭. 生物部採集の記録. ハムシ科. 三木中学校生物部採集報告書: 18-30.

採集地は三木市, 宍粟郡赤西溪谷で, ハムシ科51種が記録されている. ただし, 和名のみ.

1990. 高橋寿郎. ユリクビナガハムシについて. きべりはむし18(1):9-12.

1990. 永幡嘉之. ユリクビナガハムシの採集例. きべりはむし18(1):12-13.

1990. 高橋寿郎. 西田雅昭氏採集三木市産数種のハムシの記録. きべりはむし18(1):14-16.

1990. 新家 勝. 武庫川の昆虫目録. 伊丹の自然(8):1-15.

ハムシ科5種の記録がある.

1990. Isono, M. A Revision of the Genus *Demotina* (Coleoptera, Chrysomelidae) from Japan, the Ryukyus,

Taiwan and Korea, I. Jpn. J. Ent. 58(2):375-382.

p.379-381に川西市・神戸市産のものをパラタイプとした *Demotina sguamosa* Isono アラゲサルハムシの新種記載あり.

1990. Isono, M. A Revision of the Genus *Demotina* (Coleoptera, Chrysomelidae) from Japan, the Ryukyus, Taiwan and Korea, II. Jpn. J. Ent. 58(3):541-554.

兵庫県産では次の4種の記録がある. マダラアラゲサルハムシ *Demotina fasciculata*, フタモンアラゲサルハムシ *D. bipunctata*, チビカサハラハムシ *D. decorata*, カサハラハムシ *D. modesta*.

1990. 高橋寿郎. 兵庫県産珍稀な3種のクビボソハムシの記録. きべりはむし18(2):37-40.

アワクビボソハムシ, トゲアシクビボソハムシ, キベリクビボソハムシについての記録.

1991. 森 和夫. ユリクビナガハムシの採集記録について. きべりはむし19(1):28-29.

1991. 高橋寿郎. ユリクビナガハムシ三木市大村にて発見. きべりはむし19(1):29.

1991. 高橋寿郎. キベリハムシ氷上郡山南町五ヶ野にて採集. きべりはむし19(1):30.

1991. 高橋寿郎. クロオビツツハムシ神戸市内に産す. きべりはむし19(1):31.

1991. 八木 剛. ネクイハムシ類の産卵習性及び卵形態について. Donacist(4):9-14.

使用材料のうち, 兵庫県産5種のネクイハムシがある(ただし, 採集データはついていない).

1992. 真野育三. 夏期研修会(笠形山)報告. 兵庫生物ニュース(9):47.

笠形山で1992年8月6~7日, 兵庫県生物学会の夏期研修会が開催された際の採集品(夜間採集も含む)で, 甲虫は22種が記録されており, 和名だけであるが地域が地域だけにおもしろいものが採集されている. ハムシ科はクロオビツツハムシ1種だけが記録されているにすぎない.

1992. 相坂耕作. キベリハムシ山南町で多産. 姫昆サ

- ロンニュース(87):2.
1992. 高橋寿郎. 兵庫県下でのキンイロネクイハムシの分布. きべりはむし20(2):41-44.
1992. 高橋寿郎. クロオビツツハムシの新産地. きべりはむし20(2):55.
神戸市西区寺谷, 神崎郡笠形山での記録.
1992. 高橋寿郎. 兵庫・神戸を原産地とするハムシ類. Crude(37):9-24.
32種のハムシについて分布を主体に記録.
1993. 河上仁之. 武庫川河原の昆虫・昭和40年代の昆陽池の昆虫. 伊丹の自然第1集: 127-129 (伊丹市立博物館刊).
概説であって, 具体的に示されているのはハムシで2種である.
1993. 小田中 健. 宝塚の昆虫IV. 甲虫目 (II). 168p. (宝塚市教育委員会刊).
宝塚のハムシとしてNo.640-No.721に82種が記録されている. 各種ごとに写真で示し, 生態, 形態の記述と詳しい産地の記録がある.
1993. 高橋寿郎. オオサルハムシ神戸市内で採集. きべりはむし21(2):44-48.
神戸市北区八多町屏風に採集.
1993. 森 和夫. ムギヒサゴトビハムシの食草について. きべりはむし21(2):50.
宝塚市境野, 下佐曾利での観察.
1993. 森 和夫. ユリクビナガハムシ神戸市押谷町に産する. きべりはむし21(2):51.
1993. 高橋寿郎. 東播磨の甲虫相 (1). きべりはむし21(2):37-43.
東播磨地域ではハムシ141種が記録できていると総数で示したが, 個々の種についての解説はしていない.
1994. 藤多文雄. ヘリグロタマトビハムシの採集例. 月刊むし(279):16.
淡路島での記録の紹介あり.
1994. 小田中 健. 宝塚の甲虫 (補遺). 宝塚の昆虫 VII: 337-370.
ハムシ科はカタボシクビナガハムシ, ジュウシホシツツハムシ, ヒメキベリトゲトゲ, ジンガサハムシ, ムネアカサルハムシ, ドウガネサルハムシ, テントウノミハムシ, ウスグロチビカミナリハムシの8種が追加されている. カタボシクビナガハムシは兵庫県初記録種である.
1994. 木元新作・滝沢春雄. 日本産ハムシ類幼虫・成虫分類図説 (東海大学出版会・東京).
キベリハムシが次のように図説, 解説されている.
p.27, pl.22, f.4. p.149, 235, 309, 393, pl.114, f.4, p.465-466.
p.437篠山におけるクロボシツツハムシの生活史が述べられている.
1994. 高橋寿郎. 淡路島の甲虫相. Parnassius(40):1-6.
淡路島からは101種のハムシが記録されていると総数は示したが, 個々の種についての解説はない.
1994. 高橋寿郎. 西播磨の甲虫相. 兵庫生物10(5):179-181.
西播磨地域に生息する注目すべき甲虫類として, ハムシ類からはズグロアカハムシのみ, 音水溪谷が県下唯一の産地として紹介されている.
1994. 高橋寿郎. 東播磨の甲虫相 (2). きべりはむし22(1):1-8.
東播磨地域に生息する注目すべきハムシ類として, キンイロネクイハムシ, カツラネクイハムシ, トゲアシクビボソハムシ, ユリクビナガハムシ, アワクビボソハムシ, オオサルハムシ, ムツキボシハムシ, キベリハムシの8種を解説している.
1994. 高橋寿郎. 六甲山系を中心とした神戸並びにその近傍の甲虫相. きべりはむし22(2):35-45.
六甲山系からハムシは193種が記録されている. キベリハムシについては詳しく解説.
1994. 建設省河川治水課監修, 財団法人リバーフロント整備センター編集. 平成4年度河川水辺の国勢調査年鑑. 陸上昆虫類等調査編. B5.1328pp. (山海堂. 東京).
平成4年度に, 国が直轄管理する全国109の1級河川のうち, 48水系で陸上昆虫類調査が実施された. そのうち, 平成4年度から5年度に調査が継続している

河川を除く、42水系について結果のとりまとめを行ったものが本書である。調査者がどのレベルの人達であるのか、同定はどのような方がされたのかなどが明確にされておらず、学名は使用されず和名だけの羅列になっている点や、注目種の解説、昆虫相の解説などもほとんどなく、採集データも一切ないことから、この記録を無条件に受け入れるのには、若干抵抗を感じる。もう少し責任ある報告書としてまとめてほしかった。

兵庫県からは猪名川、加古川、揖保川流域の調査が行われた。

○ 猪名川

平成4年度の現地調査は、夏期（7月16日～8月29日）、秋期（10月13日～10月17日）、春期（平成5年5月15日～5月26日）の3回、4地点において実施。調査地点はヨモギ、セイタカアワダチソウなどの草地在大半を占めて、一部にハリエンジュ、ヤナギなどの点在する程度の単調な植生。この地域でハムシは18種記録されているが、大部分が草原に見られる普通種ばかりで、トホシクビボソハムシがやや珍しい種である。

○ 加古川

平成4年度の現地調査は、春期（6月26日～6月28日）、夏期（8月7日～8月10日）、秋期（10月1日～10月9日）の3回、4地点において実施。草地在主体となっているので、草地性の昆虫が多く記録されている。

ハムシ科は16種記録されている。この中にセスジクビボソハムシがある。学名がなく詳しい採集データもないので同定が正しいのかどうか不安であるが、現時点で兵庫県下で2番目の記録地点になる。1992年8月採集となっている。1992年8月7日～10日の調査地点は、小野市粟生町、黍田町、加古川市升田、友沢の4地点であるが、珍しい種であり、再調査の必要がある。オオアシナガトビハムシも、県下では扇ノ山以外では初めての記録である。

○ 揖保川

平成4年度の現地調査は、春期（6月27日～6月29日）、夏期（8月3日～8月6日）、秋期（10月3日～10月6日）の3回、5地点において実施。ハムシ科は21種記録されている。大体においてヨシ、クズ、ヤナギなどの河川区域内の植生条件を反映し、草地を主な生息地としている昆虫類が多く出現している。特に海岸線近くの地域にゴミシシ類を主とした甲虫類全般の多くの種が見られたとある。ハムシではウスグロスジツツハムシ *Cryptocephalus fulvus* が県下での記録がほとんど知られていない種である。1992年8月の採集とあるが、調査地点は一宮町名畑、山崎町矢原、新宮町下

笹、揖保川町市場、姫路市余部であり、どこで採集されたのかデータがないのが残念である。その他のハムシは普通に見られる種ばかりである。

1995. (社) ひめじ花と緑の協会. ハムシのなまきベリハムシ. 姫路の昆虫Ⅱ: 17.

執筆者名がないが、姫路昆虫同好会の方が分担している。ハムシは3種のみカラーで図説されており、キベリハムシはこの地域では書写山にわずかに見られるだけと解説されている。

1995. 高橋 匡. 森の昆虫概観と特徴—氷上郡昆虫目録. 丹波の自然: 133-138. (のじぎく文庫).

表題のごとく、氷上郡昆虫目録を中心にこの地域の昆虫相が述べられているが、ハムシについてはキベリハムシについて詳しく解説されている。

1995. 秋山美文・日暮卓志. 山陰東部のハムシの記録. すかしば(41/42): 15-18.

氷ノ山・扇ノ山・美方郡村岡町本谷奥で採集されたハムシ4種の記録がある(ルイスクビナガハムシ、ラルリツツハムシ、ムネアカサルハムシ、トビサルハムシ)。

1995. 林 靖彦ほか. 1989年度雨石山に於ける昆虫相調査報告書. KASUGA(11): 20-21 (大阪昆虫同好会連絡誌).

多紀郡雨石山にて1年間、鶏肉トラップで誘引した昆虫類を調べると同時に、雨石山の昆虫相をまとめたもので、48科433種が記録されている。兵庫県甲虫類として初記録と考えられるもの12科21種が含まれている。ハムシ科は42種が記録されている。特に問題になるような種は見られないが、もっと時間をかけて調べるとまだまだいそうである(この調査の参加者は11名)。

1995. 藤富正明. 私版 淡路の昆虫リスト(2) 鞘翅目. Parnassius(42): 3-4.

80種の淡路島産甲虫がアイウエオ順に配列されている。ハムシ科は4種記録されている。

1995. 東 正雄・東 良雄. 宝塚の昆虫Ⅰ～Ⅶの補遺(Ⅱ). 兵庫生物11(1): 21-24.

サンゴジュハムシ、ムネアカウスイロハムシの宝塚市での新しい記録。

1995. 高橋寿郎. クロオビツツハムシの兵庫県下の分布. きべりはむし23(1):27-30.

兵庫県下でのクロオビツツハムシの分布状況を地図で示し解説した.

1995. 高橋寿郎. ルイスクビナガハムシの分布. きべりはむし23(2):29-33.

兵庫県下でのルイスクビナガハムシの分布を述べると同時に, 全国的な見地での分布を解説.

1995. 高橋寿郎. クロオビツツハムシの兵庫県からの古い記録. きべりはむし23(2):34.

1995. 高橋寿郎. 兵庫県甲虫相の変遷. 鳥と自然(79):5-13.

兵庫・神戸を代表する甲虫?種としての解説をしており, ハムシについてはルイスジンガサハムシ, キベリハムシについて説明している.

1995. 高橋寿郎. 兵庫・神戸を原産地とする甲虫. きべりはむし23(3):1-43(ref.p.26-27, 41-42).

兵庫・神戸を原産地とするハムシ22+11種, 計33種を記録.

1995. 高橋寿郎. キベリハムシに関する文献目録・追加. きべりはむし23(3):68-69.

1995. 高橋寿郎. 兵庫県のハムシ研究史 (I). IRATSUME(19):61-69.

戦前の研究史をまとめた.

1996. 奥谷禎一. 帰化動物. 宝塚の自然(10):3-5.

キベリハムシについて解説あり.

1996. 森 和夫. 北摂周辺のトゲアシクビボソハムシとスゲクビボソハムシ. きべりはむし24(1):19-23.

従来, 少ない種とされていたトゲアシクビボソハムシとスゲクビボソハムシが, 共に川西市を中心とした北摂地域でイボクサを食草としてかなり多く産することがわかり, その生態と共に詳しく発表.

1996. 永幡嘉之. ルイスクビナガハムシの採集記録. きべりはむし24(1):49-50.

1996. 高橋寿郎. 兵庫県のハムシ研究史 (2). IRATSUME(20):18-23.

1948~1974年の県下のハムシに関する研究の歴史を解説した.

1996. 上田尚志. 但馬におけるハムシの記録. IRATSUME(20):27-30.

氷ノ山, 扇ノ山を含む但馬地方東部を中心としたハムシ類83種の記録であり, 詳しいデータがついていて大変有益である.

以上, 1996年までに発表された兵庫県のハムシに関する文献に基づいて, 兵庫県産ハムシ類研究の経緯を述べた.

《 IRATSUME の原稿募集 》

IRATSUME 22号(1998年5月発行予定)の原稿を募集します.

フィールドノートや標本箱に眠ったままになっている記録,

今シーズンの最新成果などを, どんどんお寄せください.

各昆虫のデータのまとめや生態観察記はもちろん, 採集記や短報也大歓迎です.

また, 思い出の虫や懐かしの採集地, 今後の抱負といったような内容でも結構ですから,

ぜひご投稿ください. バリエティーに富んだ誌面にしたいと思います.

なお, 原稿執筆に際しては, 必ず投稿規定をお読みください.

原稿の締切は, 1998年2月末です.

送付先・問合先は, 〒567 茨木市新中条町5-36-102 谷角素彦まで.